

## 教育目標と3つの方針（ポリシー）

### 教育目標

建学の精神である「明德・格物致知」について、本学は、「人は、物事の道理や本質を深く理解して知識や学問を深めることにより、自らが持つ天から与えられた優れた徳性を明らかにすることができ、人は、この自らの特性を悟ったとき、おのずと自ら及び他者に対して正しく公明な愛を向けることができる」ことと解釈しています。

学生に対し、多くの知識とかけがえのない経験を授けることにより、自身を磨き、更なる高みへと到達させ、世界中で貢献できる人材を育成することを目指しています。

#### 1) 令和8（2026）年度以降入学生適用

##### ◎アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

教育目標を実現するために、豊かな教養を身につけるための努力ができ、グローバル社会で活躍する意欲のある人を求めています。

1. 目的意識のある人
2. ビジネス能力の習得に対する強い意欲を持ち、実践に向けて努力できる人
3. 将来グローバル社会で活躍することを強く望んでいる人
4. 自ら解決できるような知識と技能を習得したいと考えている人

##### ◎ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学では、「明德・格物致知の実践」を通じて、社会で活躍できる、有為な人材を育成することを教育の目的として、所定の教育課程を修め、以下の能力を身につけた者に「学士」の学位を授与します。

1. 実務文章を正しく読み、書き、自分の考えを論理的に表現できる力
2. 外国語を用いて基本的な意思疎通を図る力
3. 広い視点から情報を判断、分析し、分かりやすく情報を発信する力
4. 幅広く豊かな教養をそなえ、多様な文化、価値観を理解する力
5. 社会におけるさまざまな問題を見つけ、主体的に問題解決に取り組む力

##### ◎カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

グローバル化が進展する現代社会において、多様な文化的背景を理解し、国際社会および地域社会の課題に取り組むことのできる人材の育成を目的として、体系的かつ段階的な教育課程を編成する。

教育課程は、「一般教育科目」「共通科目」「専門科目」「演習科目」「実習科目」から構成し、基礎的教養の修得から専門性の深化、さらに実践的能力の育成へと学修できるよう配慮している。

## 一般教育科目

大学での学修に必要な基本的能力と幅広い教養を身につけることを目的とし、キャリアデザインの基礎を学ぶ入門科目をはじめ、文化・社会・言語、情報と社会の関係、健康・科学に関する科目を幅広く配置している。ドイツ語、ロシア語、中国語、韓国語等の外国語科目を通じ、異文化理解も進める。

## 共通科目

国際経営、国際コミュニケーション、国際観光の3コースで専門的な科目を学ぶための共通基盤として、経営学の基礎、諸外国語、日本語教育の基礎、観光学の入門を修得する科目などを配置し、専門科目への円滑な移行を図る。

## 専門科目

国際経営、国際コミュニケーション、国際観光の各分野における専門的知識と理論を体系的に学修し、国際的課題や現代社会の諸問題を多角的に考察する能力を養成する。

## 演習科目

2年次以降に段階的に配置される「専門ゼミナールⅠ～Ⅳ」は、少人数の指導の下、担当教員の専攻分野における方法論を学び、専門性を深める。主体的な学修態度、論理的思考力、表現力を育成する。合わせて、自立した社会人として期待される能力を養成する。4年次の「卒業研究」では、ゼミナールの総仕上げとして学生自らが設定したテーマについて探究を深め、その成果を論文としてまとめる。

## 実習科目

専門科目で修得した知識を社会や現場で活用する「実践型職業体験」や「フィールドスタディ」を通じて、実践力と応用力を養う。主として1年次から履修可能な茶道、華道、書道など、日本の伝統文化を体験的に学ぶ「伝統文化」などの科目を配置している。

## 2) 令和7(2025)年度以前入学生適用

### ◎アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

本学では、教育目標を実現するために、豊かな教養を身につけるための努力ができ、グローバル社会で活躍する意欲のある人を求めています。

1. 目的意識のある人
2. ビジネス能力の習得に対する強い意欲を持ち、そのために努力ができる人
3. 将来グローバル社会で活躍することを強く望んでいる人
4. 自ら解決できるような知識と技能を習得したいと考えている人

### ◎ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

本学では、「明德・格物致知の実践」を通じて、社会で活躍できる、有為な人材を育成することを教育の目的として、所定の教育課程を修め、以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与します。

1. 文章を正しく読み、書き、自分の考えを論理的に表現できる力
2. 基本的な英語の読み、書き、英語で自分の意思を伝えることのできる力
3. 広い視点から情報を判断、分析し、分かりやすく情報を発信する力
4. 幅広く豊かな教養をそなえ、多様な文化、価値観を理解する力
5. 社会におけるさまざまな問題を見つけ、主体的に問題解決に取り組む力

### ◎カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

#### キャリア創造学科

学位授与の方針に掲げた人材を育成するため、「一般教育科目」「専門科目」「演習科目」「実習科目」を配置し、教育を行う。

#### 一般教育科目

1年次に配置される必修科目「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン概論」では、現代社会と自分の将来を見つめ、自己を実現するための社会人基礎力、コミュニケーション力を身につける。主として社会・人文分野における幅広い教養を身につけ、社会人として要求される知識を学ぶと共に、専門的知識に関する研究の基盤を作る。

#### 専門科目

「キャリア・情報」ではキャリア理論、就職支援科目を配置し、実践的なビジネススキルなど社会で要求される基礎的なことを学ぶ。「文化・社会」では、多様な文化の理解を深めつつ幅広い教養を身につけ、多角的な視点から様々な分野で要求される知識を身につける。「言語文化」では「英語コース」「中国語コース」「日本語コース」の各コースの必修科目を中心に基礎から段階的に学習し日常会話からビジネスシーンで使える語学力を身につけることはもちろん、コミュニケーション力を養う。

### **演習科目**

1年次に配置される必修科目「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」では、学習習慣を確立し、大学での学修方法、レポートの書き方、文章表現力を学ぶ。2年次から3年次にかけて段階的に配置される「専門ゼミナールⅠ～Ⅳ」は、少人数の指導の下、各分野における方法論を学び、専門性を深めるのみならず、自立した社会人として期待される能力を養成する。また、ゼミナールの総仕上げとして「卒業研究」で論文を仕上げる。

### **実習科目**

1年次から配置される「伝統文化」などの科目に加え、2年次からは、他者との協働性や社会参画のための態度を養うための「実践型インターンシップ」「地域創生」「フィールドスタディ」などの科目も配置している。

### **関連科目**

令和2年度以前入学生に対して充当される。主として2年次から配置され、各種検定試験の準備を行うための科目として位置づけられる。TOEIC、英語検定、ITパスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験、簿記検定、日本語能力試験など、資格取得の支援を行う。